

高等学校【地理歴史(世界史)】正解・解答例

1

- (1) ①、②、④
 (2) ① ICT ② 個別化 ③ 個性化
 (3) ① ア d イ a ウ e エ b オ c
 ② ア 地図 イ 技能 ウ 情報通信 エ 博物館 オ 社会
 ③ ア 客観的 イ 公正

配点：(1) 2点、(2) 2点×3、(3) 各1点×12

20点

2

- (1) ④ (2) ⑥
 (3) ⑤ (4) ③
 (5) ②

配点：各2点×5

10点

3

- (1) ③ (2) ②
 (3) ① (4) ⑥
 (5) ⑥ (6) ②
 (7) ④ (8) ②
 (9) ① (10) ⑥

配点：各2点×10

20点

4

- (1) 前7世紀にドラコンが慣習法を成文化した。前6世紀にはソロンが負債を帳消しにして平民の債務奴隷化を防止し、財産額の多少に応じて権利義務を定めた財産政治を行った。前6世紀なかば、僭主であったペイシストラトスは中小農民を保護する政策を実施した。僭主政治の崩壊後、クレステネスは新しい部族制を定め、僭主の出現を防止する陶片追放(オストラキスモス)の制度を創設し民主政の基礎を固めた。
 (2) ソフィスト (3) ニハーヴァンドの戦い
 (4) イスラーム教徒であれば民族の別なくジズヤ(人頭税)が免除されたため。
 (5) ブワイフ朝

配点：(1) 20点、(2)・(3) 各2点×2、(4) 4点、(5) 2点

30点

5

- (1) 農業生産の増大による余剰物資の発生、商業・都市の発展、十字軍運動による遠隔地商業の発展などにより、次第に貨幣経済が普及した。
 (2) 気候が寒冷化し、凶作や飢饉、黒死病(ペスト)が流行、あいつぐ戦乱などのため。
 (3) 封建反動
 (4) ① ワット=タイラーの乱 ② ジョン=ボール
 (5) ア 里甲制 イ 六諭 ウ 衛所制 エ 内閣大学士
 (6) 北元 (7) 魚鱗図冊
 (8) 中書省が廃止され、中央政策執行機関である六部を皇帝に直属させた。
 (9) 靖難の役(靖難の変) (10) ②・⑤
 (11) 明への朝貢を促すため。

配点：(1) 6点、(2) 6点、(3) 2点、(4) 2点×2、(5) 2点×4
(6) 2点、(7) 2点、(8) 4点、(9) 2点、(10) 3点、(11) 3点

42点

6

- (1) ア メッテルニヒ イ ギリシア
- (2) 正統主義
- (3) ドイツでは神聖ローマ帝国は復活せず、プロイセンやオーストリアを含む35か国と4自由都市が新たにドイツ連邦をつくった。連邦議長国のオーストリアは、南ネーデルラント(のちのベルギー)をオランダにゆずるかわりに北イタリア(ロンバルディア・ヴェネツィア)に領土を広げ、プロイセンもライン地方とザクセン北部に領土を拡大した。ロシア皇帝はポーランド王を兼ね、フィンランドも獲得した。イギリスは、旧オランダ領のスリランカやケープ植民地などを領有した。
- (4) ④ (5) ウ モンロー宣言(モンロー教書、モンロー主義) エ カニング
- (6) イギリスはオスマン帝国の背後を攪乱するためにアラブ民族運動を利用し、メッカの太守のフサインとの間にアラブ地域の独立を約束するフサイン・マクマホン協定を1915年に結んだ。しかし、イギリスにはそれを遵守する意思はなく、翌年(1916年)にフランス、ロシアとの間でオスマン帝国の領土を分割するサイクス・ピコ協定を結び、1917年には外相バルフォアがユダヤ人の協力を得るため、アラブ人の住むパレスチナにユダヤ人の民族的郷土を設定することを認めるバルフォア宣言を出した。
- (7) 二十一か条の要求

配点：(1) 2点×2、(2) 2点、(3) 12点、(4) 2点、(5) 2点×2、
(6) 12点、(7) 3点

39点

7

- (1) イギリスでは大西洋三角貿易による莫大な利益が産業革命を支えた。リヴァプールやブリストルは貿易港として発展した。北アメリカ植民地では、タバコや綿花のプランテーションで黒人奴隷が労働力となった。西インド諸島では、砂糖などのモノカルチャー経済が広まり、経済的にヨーロッパに従属した。アフリカでは1000万人以上の黒人が奴隷としてアメリカ大陸に送られたため、人口が停滞し経済成長がはばまれた。
- (2) パレスチナ暫定自治協定(オスロ合意)

配点：(1) 14点、(2) 3点

17点

ウィルソン
「十四か条」

〈内 容〉

- ・ 軍備の縮小
- ・ 国際平和機構の設立
- ・ 民族自決

〈影 響〉

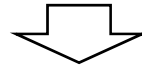
- ⇒ ワシントン会議の開催－海軍軍備制限条約
- ⇒ 国際連盟設立
 - ・ 大国（アメリカ、ロシア、ドイツ）の不参加
 - ・ 経済制裁のみ可能
- ⇒ ヨーロッパ：民族自決の適用あり

独立国の誕生

フィンランド、バルト三国、ポーランド、
チェコスロヴァキア、ハンガリー、ユーゴスラヴィア

アジア・アフリカ：民族自決適用なし

旧オスマン帝国領、旧ドイツ領南太平洋は委任統治領
として戦勝国に分配



抵抗や反発

中国：五四運動
朝鮮：三一独立運動